

第8章 保管・運搬の注意事項

1. 保管	8-2
2. 運搬	8-2
3. 作業環境	8-3

本章では、保管・運搬の注意事項について説明します。

1. 保管

- (a) 素子の保管温度・湿度は常温・常湿中が好ましく極端な温度・湿度は避けてください。常温常湿の目安は、5～35℃で45～75%です。特にモールドタイプのパワートランジスタ等の場合、非常に乾燥する環境下では加湿器により加湿する必要があります。その際、水道水を使うと含まれている塩素により製品の端子が錆びる可能性があるため、使用する水は純水や沸騰水を用いるようにしてください。
- (b) 腐食性ガスを発生する場所や塵埃の多いところは避けてください。
- (c) 急激な温度変化のある所ではデバイスに結露が起こるので、できるだけ温度変化の少ない場所に保管してください。
- (d) 製品に荷重がかからないように注意してください。特に積み重ねた時に思わぬ荷重がかかることがあります。また、重いものを上に載せることも避けてください。
- (e) 錆などによるはんだ付不良を避けるため各端子は未加工の状態でご保管ください。
- (f) 製品を入れる容器は静電気を帯びにくいもの、あるいは弊社出荷時の容器としてください。
- (g) 保管棚等は全て金属にし、接地してください。

2. 運搬

- (a) 落下などの衝撃を与えないでください。
- (b) 多数の製品を箱等で運搬する時は、接触電極面等を傷つけないようにやわらかいスペーサを介して製品を並べてください。
- (c) G-E間に静電気が加わらない様に導電性袋やアルミ箔等で静電気対策を行い運搬してください。

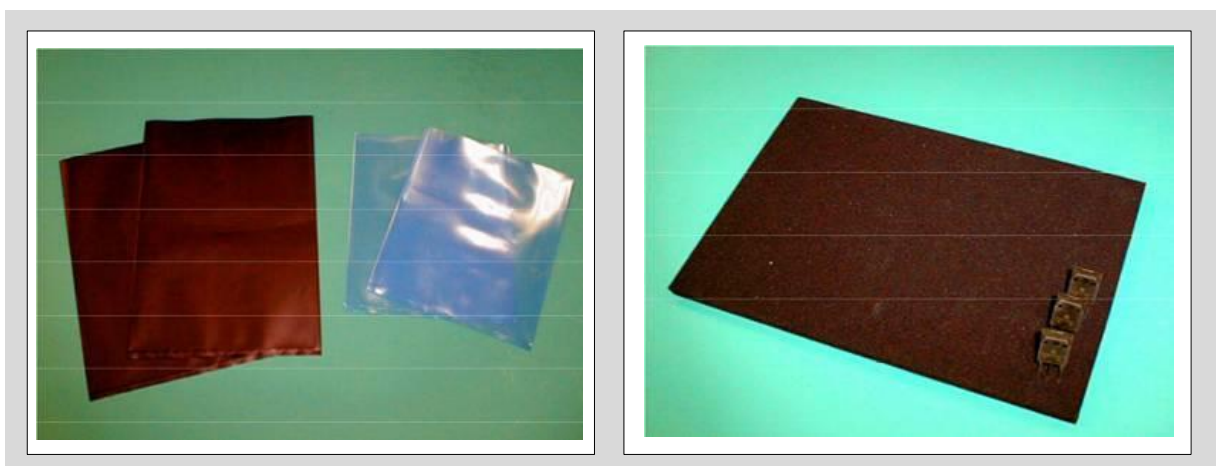


図8-1 導電性袋(左)と導電性フォーム(右)

3.作業環境

- (a) 作業を行う人は人体アースを取ってください。人体アースはリストストラップや銅の指輪等を付け、感電防止のため1MΩくらいの抵抗を取付けて、アースを取ってください。
- (b) 作業環境は導通性のフロアマットやテーブルマット等を敷き、アースを取ってください。
- (c) カーブトレーサーなどの測定機を使用する場合は測定機もアースを取ってください。
- (d) はんだ付けを行う場合ははんだゴテやはんだバスからのリーク電圧がディスクリートIGBTへ印加しないよう、はんだバス等のアースを取ってください。
- (e) 端子に直接触れないよう、パッケージ本体を持って取り扱ってください。